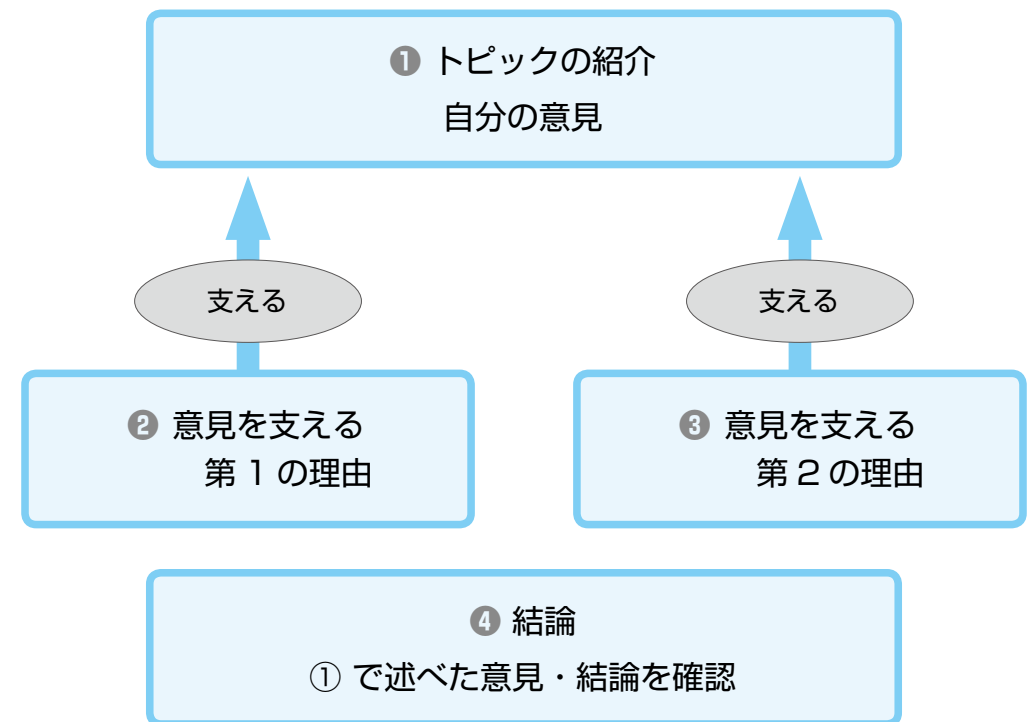


理由で押し切る！

1

●エッセイ構成



論議をよんでいる問題について、「賛成だ」または「反対だ」として自分の意見を明確にして、それを正当化するために、いくつかの理由を出し、最後に「こういうわけで自分はこの結論に達した」と締めるエッセイです。欧米の大学のレポートを書く上で、また TOEFL や IELTS のテストで役立つ基本的なパターンですのでしっかりマスターしましょう。

A Model Essay



Are schools necessary?

1 Some people say there are many problems with school system. However, I support this system for the following two reasons.

2 The first reason is that children can get basic knowledge and skills to live in society. Any child can learn at school for free, even if he is poor or lives in the countryside.

3 The second reason is that children can be socialized. They learn social rules at school by studying and playing with other children. If children learn how to behave in society, we will have a peaceful and comfortable society.

4 For these reasons, we need school, even if it costs a lot for the government.

上のエッセイを読んで、次の表を完成させ、ポイントを整理しなさい。

① トピック・自分の意見	→	② 理由1
		↓
④ 結論	←	③ 理由2

Notes

2 for free 無料で

3 be socialized 社会化する behave ふるまう comfortable 快適な

Useful Expressions

1 自分の立場を明確にする。

- 「～という意見 [考え / 主張] に私は賛成である」
I support [agree with / am for] the opinion [idea / statement] that S+V.
- 「～という考えに私は反対である」
I oppose [disagree with / am against] the idea that S+V.
- 「多くの [何人かの] 人がこの考えに賛成だが、それでも私はこの考えに反対する」
Many [Some] people support this idea, but I am still against this idea.
- 「次に述べる理由から私はこの考えに賛成する」
I support this idea for the following reasons.

2 3 自分の立場を支持する理由

- 「最初の理由は～」 「第二の理由は～」
The first reason is N. (N は名詞)
The first reason is that S+V. (S+V は文)
- 「まず～」 「次に～」
First, S+V.
Second, S+V.

4 自分の立場をもう一度確認

- 「こうした理由から私は～だと思う」
For these reasons, I think S+V.
These are the reasons why I think S+V.



英文エッセイの書き方

エッセイを書く場合、まだ慣れていない時には次のようなエッセイ・プランをまず作っておくことを勧めます。それぞれのますがそれぞれの段落を表しています。英文エッセイの場合、それぞれの段落が目的をはっきり持っていて、そこから外れてはいけません。

① 序論
② ボディ1
③ ボディ2
④ 結論または結び・まとめ

それぞれの段落の目的を簡潔にメモしておきましょう。エッセイを書く紙の隅にこのエッセイ・プランを書き付けておけば、自分が今何を書いているのか常に意識して書き進めることができます。書いているうちにあれも書きたい、これも書こうとして、その段落の目的から外れてしまうことはよくあること。常に「この段落の目的に外れていないか」を意識しながら書いていくことは、全体的に論理的なエッセイを書く助けとなります。

まず一番上の段落が「序論」、そして一番下の段落が「結論または結び」です。あくまでもエッセイの母体は第2段落から始まる「ボディ」なので、序論、結論の段落はなるべく簡潔に書きましょう。

「序論」はエッセイで取り上げるトピックの導入になります。「～が最近人気である」「～が今深刻な社会問題となっている」「～という言葉を知っていますか？」など。また、「このエッセイで私は～を明らかにしたい」といった自分の意見、立場を明らかにするやり方もあります。

「ボディ」は言葉通りエッセイの「本体」となります。エッセイがどういう目的を持っているかに応じてボディの役割も違ってきます。本書ではエッセイ目的を4つに分けています。

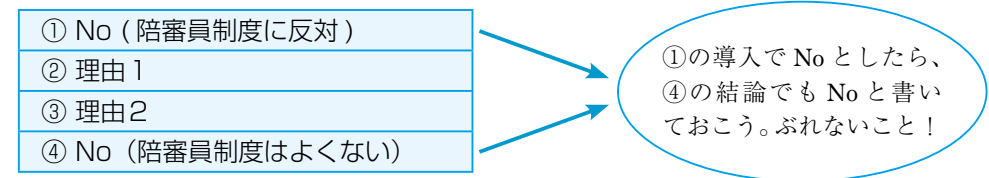
エッセイの型	ボディの役割
意見サポート型	意見を支える「理由」・「要素」
並列型	トピックに基づいた「例」、比較の対象物など
フロー型	時間的経過による「段階」「流れ」
異次元型	違った角度からトピックを説明

「結論・まとめ」は締めです。ボディだけでエッセイを終わると何だか締まりません。意見サポート型であるならば、自分の意見をもう一度強調する。そのほかのエッセイでは、何かしらトピックに関係することを述べてまとめとする。そのまとめの例としては、「我々はますますこのことを考えてみなければいけない」「これからどのように変わっていくのか?」「これは重要な問題である」などがある。

「賛成か反対か」のエッセイの書き方

エッセイを書く場合に最も大事なことは「ブレない」ことです。特に「賛成か反対か」のエッセイについては、「Yes」か「No」かを序論でまず明確にし、結論でも最初に表明した「Yes」か「No」かの意見を確認します。この種類のエッセイ構造図を以下に示します。

まず一番上の段落の枠「序論」には、「Yes」か「No」か自分の意見を入れます。次に一番下の段落の枠「結論」に、序論で下した Yes か No かの自分の意見をもう一度入れます。序論で Yes と書いたなら、結論でも Yes です。序論で No なら、結論でも No です。これは絶対に間違えないでください。



No か Yes か決まったら、次はその理由づけです。No と決めたら、その意見を支える理由を2、3考えましょう。Yes と決めたら、その意見を支える理由をやはり2、3考えましょう。それぞれの理由が Body1、Body2 となります。

* 自分の意見と反対の意見にも少し触れよう!

No なのか Yes なのか明確にすることが最も大事なのですが、自分が下した意見と反対の意見も出しておくことで「バランスのとれたエッセイ」という印象を与えます。短いエッセイでは「序論」で触れておくのが一番良いでしょう。

「～について、・・・という理由で賛成する人もいる」(自分と反対意見の紹介)
→ 「しかし私は次のような理由で～には反対する」

と持っていけばバランスのとれたエッセイとなるでしょう。日本人がよくやってしまうまちがいは、判断つきかねて、Yes と No の両方を同時に書いてしまうことです。問題文が「賛成意見と反対意見を書きなさい」ならこれでもいいのですが、「賛成ですか? 反対ですか?」ときかかれたら、どちらかの意見を選び、そちらをメインにして書かなければいけません。

B Writing Task

日本語に従って、次のエッセイを英語にしてみよう。下のエッセイ・プランを意識しながら書いてみよう。

Essay Title Should university entrance examinations be kept?

エッセイ・プラン:

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1 | トピック・自分の考え
Yes: 大学入試は必要。 |
| 2 | 理由1
誰にとっても公平。 |
| 3 | 理由2
成長のためには試練が必要。 |
| 4 | 結論
Yes: 大学入試は必要。 |

1 ① 大学入試は廃止される (be abolished) べきだという人がいる。

② この制度には多くの問題がある。

③ しかし次のような理由からこの制度を私は支持する。

2 ④ 最初の理由は、入試制度は全ての人に公平であるからである。

⑤ 努力をする人は報われ (be rewarded) るべきである。

3 ⑥ 第二の理由は、大学入試が子供たちを成長させるからである。

⑦ 成長するためには、子供たちは何らかの試練 (hardship) が必要である。

⑧ 彼らは自分たちの将来のために一生懸命勉強する。

⑨ そして彼らは努力の重要性を認識するだろう。

4 ⑩ こうしたことが私が大学入試を支持する理由である。



Notes

- | | |
|---|--|
| 1 | ① 「～だと言う人がいる」 some people say that S+V 「廃止する」 abolish
「大学入試」 university entrance examinations |
| | ② 「～には問題がある」 there are some problems with ~ |
| | ③ 「次のような理由ゆえに」 for the following reasons |
| 2 | ④ 「入試制度」 the entrance examination system 「～に公平である」 be fair to ~ |
| | ⑤ 「努力をする」 make efforts 「報われる」 be rewarded |
| 3 | ⑥ 「成長させる」 make ~ grow up |
| | ⑦ 「試練」 hardship |
| | ⑧ 「真剣に」 seriously |
| | ⑨ 「認識する」 recognize |
| 4 | ⑩ 「こうしたことが～する理由である」 these are the reasons why S+V |

C オリジナル・エッセイの作成

次のエッセイ・タイトルでエッセイを書いてみよう。

1. Should Japanese national universities be tuition free?
2. Should the number of vending machines in Japan be reduced?
3. Should Japanese workers have more holidays?
4. Now many women take maternity leave before and after giving birth. Is paternity leave necessary for men?
5. Make up your own essay topic.

☆ 上のエッセイ・タイトルのうち、ひとつを選んで、それについて、Yes と No の両方の立場のエッセイ・プランを書いてみよう。

① 選んだエッセイ・タイトル []

② エッセイ・プランの作成

A	B
Yes	No
Yes	No

③ プランを選ぶ。

A と B を比べてどちらが書きやすいか考えてみる。書きやすい方を選んで、それを自分の立場とする。

④ エッセイの作成

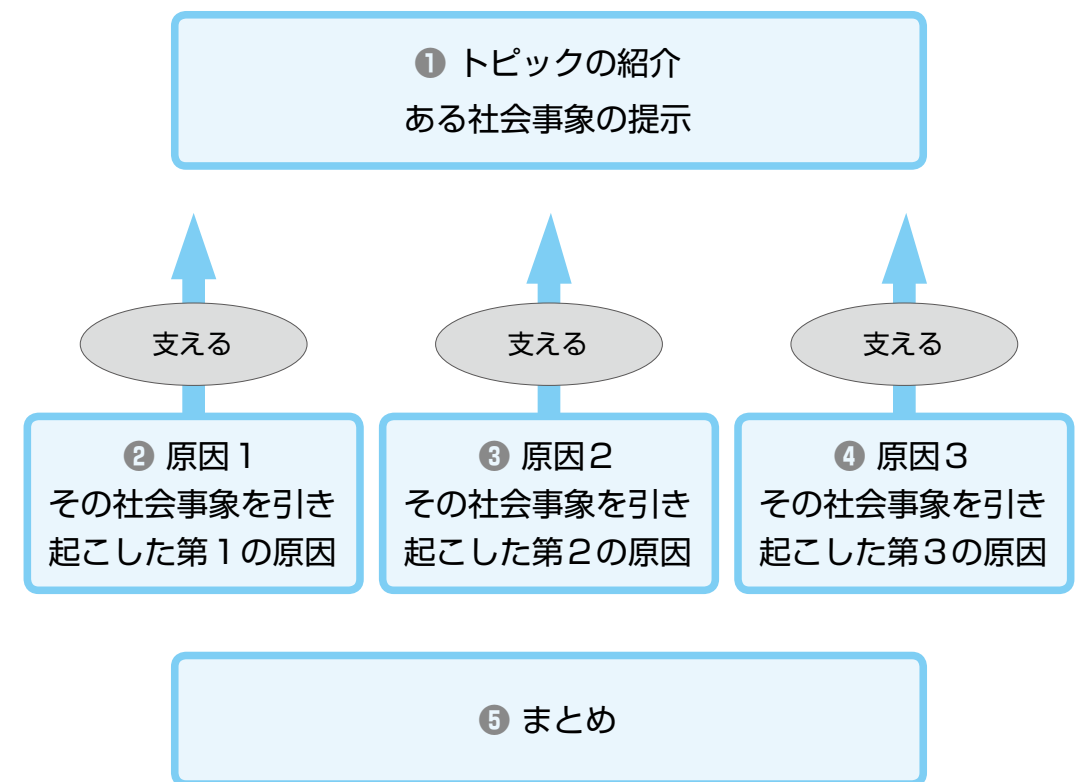
Useful Expressions を利用しながら、あなたのオリジナル・エッセイを書いてみましょう。

Social Phenomenon

社会事象を説明する

2

●エッセイ構成



トピックとなる社会事象を紹介し、その事象が現れた社会的原因・背景をいくつか提示していくパターンです。それぞれあげる原因が、トピックとなる社会事象を説明し、支える構成となっています。